

令和 6 年度大分県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

1. 令和 6 年 7 月 25 日（木）14：00 開会
2. 大分年金事務所長 山口 挨拶
公的年金制度の全体状況、日本年金機構の令和 5 年度の国民年金・厚生年金保険事業実施状況および令和 6 年度の組織目標並びに地域年金展開事業の取組計画について。
3. 新規委嘱の委員紹介
新規委嘱委員 2 名の紹介を行う。
4. 出席委員の紹介
出席委員 10 名の紹介を行う。
5. 日本年金機構職員および地域年金推進員の紹介
日本年金機構職員 7 名および地域年金推進員 1 名の紹介を行う。
6. 議長選出
宮川委員長登壇の挨拶
7. 議題の説明
会議次第 4. 資料(1)地域年金展開事業の概要、資料(2)令和 5 年度事業実施結果報告について大分年金事務所長より説明を行う。
年金セミナー事業の現況について甲斐地域年金推進員より説明を行う。

【甲斐 地域年金推進員】

主に県立学校や高校において学校長に直接年金セミナー資料により説明をしています。内容は理解してもらえるものの特に普通科高校は進学スケジュールの問題もあり実施は困難な状況にあります。普通科高校には授業内や探究の時間での年金セミナー実施を要請しています。また国や県からの様々なセミナー要請がある中で、学校での取捨選択により年金セミナーが採用されないことも多いため毎年一から説明しています。たとえ年金セミナー実施校であっても学校長が異動すると途絶えてしまうこともあるため、学校は文部科学省の所管なので年金セミナーの重要性について省庁の枠を超えて文部科学省と厚生労働省の国レベルでやりとりをしていただきたい。20 歳になるまでの年齢における年金セミナーの実施が 20 歳以降の年金についての理解へとつながっていくので極めて重要であると考えています。

8. 説明に対する質疑

資料(1)地域年金展開事業の概要、資料(2)令和5年度事業実施結果報告に対する質疑

【九州厚生局年金調整課長 本山委員】

意見というよりお願いになりますが、年金セミナー開催時に「わたしと年金」エッセイの優秀作品を資料として配布していますか。実際の高校生が書いた優秀な作品を見てもらう方が、大人が話すより年金を身近に感じてもらえるかもしれないので、年金セミナーの開催時にエッセイの優秀作品を参考資料として配布してもらえれば有効活用になると思います。

もう1点のお願いですが、今回の資料にはないですが年金セミナー開催後のアンケート結果について沖縄県の地域年金事業運営調整会議の資料では、年金セミナー後にもっと詳しく説明してほしいこととして、1番は国民年の保険料免除制度、2番に公的年金が破綻しないことが挙げられていました。さらに自由記載欄に「年金制度の必要性は分かるが今後うまく機能するか分からない」要するに公的年金制度が今後ずっと続いていって自分たちがもらえるのかが分からないという意見がありました。本来は厚生労働省がPRすべきですが、若い世代に公的年金制度を説明する年金セミナーの場で「公的年金制度は日本という国がなくなる限り破綻したり制度がなくなったりすることはない」ということを強くメッセージとして伝えてほしいという思いがあります。昨年佐賀大学で話す機会をいただいた際に“年金制度は大丈夫ですよ”と言っても通じないので「皆さんは将来日本がなくなると思いませんか」と聞いてみたら、日本はなくなるだろうという反応だったので「年金制度はそれと一緒にです。日本という国がある限り年金制度は国が責任を持ってお金を頂戴して運営しているのだから破綻しません」と言ったら“厚生労働省の人が言うのなら大丈夫なんだろう”という雰囲気にはなりました。年金制度は絶対に大丈夫だということをぜひ年金セミナーの場で強いメッセージとして伝えていただきたいと思います。

【回答：大分年金事務所副所長 山本】

ご意見ありがとうございます。

「わたしと年金」エッセイの入賞作品については、学校にエッセイ募集を依頼する際に前年度の入賞作品の資料を配付していますが、年金セミナーで実際に生徒に読んでもらうような臨場感も必要だと思いますので、ぜひ今後の参考にさせていただきます。

年金セミナー実施後のアンケートにおいて、年金制度の破綻に関する意見については私どもも承知しており、年金セミナーのテキストで「日本という国がなくなる限り破綻しない」ということをマクロ経済スライドの説明により行っていますが、マスコミ報道の影響もあってか誤解を解ききれないというのが現状です。引き続き強くアピールしてまいります。

【子育てママ有志の会代表 村井委員】

関連して年金セミナーの話をさせていただきます。

22歳と17歳の子がいますが、年金に対しての考え方について22歳の子は「将来年金をもらえないのではないか」という気持ちが強く、17歳の子は学校で年金セミナーを受けたこともあってか年金をもらえなくなるという認識は薄いようにあります。地域年金推進員の甲斐先生のご尽力により、年金セミナーが浸透している影響を感じているので年金セミナーの開催についてこれからも長く活動を続けていただきたいと思います。

あと質問ですが、年金セミナーは中学生から大学生まで幅広く開催されていますが、内容は年齢問わず同じ内容で実施しているのかお聞きします。

【回答：大分年金事務所副所長 山本】

年金セミナーで使用しているテキストは中学生から大学生まで基本的には同じものですが、それぞれの年代に少しでも関心も持ってもらうためにボリュームを変えるなどの工夫をしています。実際の年金セミナーにおいては、中学生には講師との掛け合いの時間を設けたりして、できるだけ飽きさせないようにしています。

ちなみに高校の進学校では年金セミナーの開催が厳しいので、すそ野を広げる意味で中学校での開催を増やすよう努めています。

【子育てママ有志の会代表 村井委員】

年金セミナーの開催が12月から1月に集中していますが、年度後半の方がスケジュールしやすいという学校としての理由によるものなのか、日本年金機構が要望して年度後半になっているのかお聞きします。

【回答：甲斐 地域年金推進員】

現実として普通科高校では年金セミナーの開催に至っていませんが、年金セミナー開催の要請時には日本年金機構の職員が講師になって社会科や家庭科での授業の中で年金セミナーをやってはどうかという提案を学校長に行っています。ただこれは教師や学校の理解がなければ実現しないし、やはり学校は外部から人を入れることに抵抗があり、学校内で完結させようとする気持ちが強いです。1月以降に開催が集中するのは進路が確定した空白期間に年金セミナーを入れる学校が多いためであり、年間通じて年金セミナーの計画をしたらどうかという提案は常に行っています。年金セミナーの内容は非常にすばらしく、高校生が年金制度を知ったうえで大学生や社会人になるのは極めて有用なことは自分が校長時代にも感じていました。もっと努力をしなければいけないと思っています。

【子育てママ有志の会代表 村井委員】

年金セミナー事業は素晴らしい事業なので、これからも継続してほしいと思っています。

9. 議題の説明

会議次第 4. 資料(3) 令和 6 年度地域年金展開事業計画、資料(4)参考資料について大分年金事務所長より説明を行う。

会議次第 4. 資料(3) 令和 6 年度地域年金展開事業計画に関連して、大分県内各年金事務所における年金セミナーの開催、年金委員の委嘱拡大取組、年金委員の活動の令和 6 年度の現況について大分県内各年金事務所より説明を行う。

【大分年金事務所副所長 山本】

大分年金事務所の令和 6 年度の現況について報告します。

年金セミナーについては、中学・高校 8 校、専門学校 4 校、短大 1 校、大学 1 校の 14 校から申込をいただいています。大学は大分県立看護科学大学から今回初めて申込をいただき、また別に 2 つの民間団体から年金受給にかかる説明会の申込をいただいているところです。学校での年金セミナー開催については、毎年九州トップクラスの実績をあげていますが、これは元学校長としての経験や人脈を生かして活動いただいている地域年金推進員のご尽力のおかげであり、感謝申し上げます。年金セミナーの開催意思はあるものの日程調整ができていない学校が他に多数あるので、10 月以降地域年金推進員の先生に改めて学校訪問を実施していただくことにより、昨年の 19 校の実績を上回るよう取り組んでいきます。

年金委員の委嘱拡大については、職域型年金委員は 10 月の短時間労働者の適用拡大の円滑な事業実施のため昨年度に引き続き、被保険者 51 人以上の事業所を優先して年金委員の委嘱拡大に取り組み、事業主と被保険者双方への制度周知を図ることとしています。今年度当初に被保険者 51 人以上の事業所で年金委員未設置の事業所が 126 件ありましたが、勧奨の結果 11 事業所に新たに年金委員を委嘱しています。地域型年金委員については、昨年度より民生委員や社会福祉協議会職員、教員への委嘱を優先して勧奨に取り組んできましたが、今年度は生活困窮者に接する機会がある大分市社会福祉協議会に対して年金委員の委嘱要請を行った結果、同協議会職員 1 名に対して地域型年金委員の委嘱を行ったところです。

年金委員の活動については、職域型年金委員に対して 8 月に年金額改定にかかる研修、ねんきん月間である 11 月にオンラインでの研修を実施予定です。地域型年金委員については年 2 回の連絡会で研修を行うとともに地域における周知広報活動の計画を策定して、公民館でのポスター掲示や自治会回覧板による広報など年 4 回の広報活動を予定しています。

【別府年金事務所長 大海】

別府年金事務所の令和6年度の現況について報告します。

年金セミナーについては、中学1校、高校2校、専門学校1校の4校から申込をいただいています。他には社会福祉協議会から年金給付関係の説明会の申込をいただいています。昨年度の学校での年金セミナー実施7校という実績を上回るようアプローチに努めてまいります。

年金委員の委嘱拡大について、職域型年金委員は10月の短時間労働者の適用拡大に向けて被保険者51人以上の事業所を優先して年金委員の委嘱拡大に取り組み、制度周知を図ることとしています。今年度上期に文書勧奨を実施した結果、新たに3名に年金委員の委嘱をしていますが、電話による勧奨も行い更なる委嘱拡大に努めているところです。地域型年金委員はOB職員や市町村に対して文書勧奨を実施していますが、今後は電話による勧奨を実施して委嘱拡大を図るとともに民生委員への勧奨も行っていきます。地域の実情に応じた活動の充実を図るために年金委員の委嘱拡大に取り組んでまいります。

年金委員の活動については、職域型年金委員は8月の別府年金委員会理事会において研修を開催する予定です。地域型年金委員は6月に開催した8名参加の地区連絡会で研修を実施しており、併せて公民館でのポスター掲示などの広報活動の依頼も行っています。

【佐伯年金事務所長 寶城】

佐伯年金事務所の令和6年度の現況について報告します。

年金セミナーについては、佐伯管内は大学や専門学校はないので高校6校、中学19校の25校に対して開催依頼の文書勧奨を行っているところです。例年年度後半に年金セミナー開催の要望がありますが、今年度は中学2校から秋以降の年金セミナー開催の申込をいただいています。昨年度高校では1校で年金セミナーを開催していますが、今年度はまだ申込がないので高校や特別支援学校に対して引き続き年金セミナー開催のアプローチを行っていきたいと考えています。また、今年度初めての試みとして大分地域訪問サポートステーション県南サテライトに対して就労支援している若者向けに年金セミナーを開催できないか相談しており、9月に実施する方向で進めているところです。今後は継続して実施できるよう対応していきたいと考えています。

年金委員の委嘱拡大と活動については、職域型年金委員は事業所調査や電子申請のサポートで事務所職員が事業所訪問する際に、年金委員制度の説明をして年金委員推薦書の提出をお願いしており、現在2名から年金委員推薦書の提出をいただいています。佐伯年金委員会理事会を8月に開催予定していますが、厚生年金保険の適用関係や在職老齢年金についての研修を予定しています。地域型年金委員は佐伯市社会福祉協議会にお願いして佐伯市OB職員に年金委員になっていただきました。地域に顔が利くということで今後は当所国民年金課とタイアップして自治会などで国民年金制度の周知にご尽力をいただくことになっています。6月に4名参加の地区連絡会を開催して令和6年度の年

金額改定の研修を実施しています。また、コロナ禍で中断していたハローワークでの年金相談会については今年の 6 月から再開することになり、毎週水曜日に当所国民年課職員を派遣して年金相談会を実施しています。

【日田年金事務所長 友田】

日田年金事務所の令和 6 年度の現況について報告します。

年金セミナーについては、高校 2 校、特別支援学校 1 校の 3 校から申込をいただいています。昨年度上期に管内で一番大きな中学校で 5 クラス同日開催の要望により、小規模事務所ながら 6 名体制で年金セミナーを実施しましたが、今年度は人事異動もあり体制が整っていないのが課題として残っています。大分県内の他事務所からの応援も遠距離により困難なので事務所内での講師育成に努めてまいります。年金委員からも教育の場で年金に触れることは大変良いことだという意見を常にいただいていますので、年金は年をとってからのものではないということ、特に若年層には障害年金の大切さを伝えていきたいと考えています。また、佐伯年金事務所と同様に日田でもハローワークでの年金相談会を再開しています。毎週 1 回開催されている雇用保険の説明会において 20 名弱の参加者に対して国民年金の免除や猶予の手続きについて説明を行っていますが、併せて個人向けオンラインサービスの利用促進のためにマイナポータルからのねんきんネットにより手続きが簡単にできることも説明しています。ただ、マイナンバーカードのパスワードを覚えていない方が多く、マイナポータルからの手続きが中断してしまうのが現状です。

年金委員の委嘱拡大については、職域型年金委員は電子申請の訪問サポートの際にお願いしたり、事業所規模に応じた文書勧奨を行ったりする予定です。

年金委員の活動については、職域型年金委員は 7 月 19 日に日田年金委員会理事会を 7 名参加のもと開催し、地域型年金委員は 6 月に地区連絡会を 4 名参加のもと開催しています。

10. 説明に対する質疑

大分県内各年金事務所における年金セミナーの開催、年金委員の委嘱拡大取組、年金委員の活動の令和 6 年度の現況説明に対する質疑

【九州厚生局年金調整課長 本山委員】

私から 2 点ほどお話しします。

一つは情報提供ですが、資料の 28 ページの地域における年金相談事業です。最近是他県で大学のキャンパス内で年金相談をやっている事例が見られます。昨年宮崎県の運営調整会議で所長がこの取り組みが表彰されたと話をしておられましたが、他県でも真似をしてくれているようです。大学のキャンパス内では主に学生納付特例の獲得だと思えますが、ぜひ県内の大学に声をかけていただいてキャンパス内での年金相談が実施できれ

ば、学生に対する関与が広がるのではないのでしょうか。

もう一つは他県のある市からの意見ですが、資料の26ページの市町村と連携した情報提供でのポスター掲示やリーフレットの設置についてです。その市ではポスター掲示やリーフレット設置する場所はなく、今は電子掲示板でありLINEに友だち登録してもらってプッシュ型で周知しているため窓口に来る人が減っています。紙のリーフレットを設置する効果がなくなっているため日本年金機構でも検討した方がよいと思うとの意見を伺っています。実際に大分市にも年金事務所からポスターなどが送られてくると思いますが、窓口でリーフレットを手にする住民は多いのでしょうか。

【大分市国民年金室長 牧委員】

大分市では年金の窓口は非常に狭くて常設はできず、必要な方に渡すようにしています。大分市だけでなく、今は書かない窓口や来なくてよくなる窓口が全国的にうたわれています。例えば、国民年金の免除申請書は複写になっていて都市によっては全部の情報を入力した状態で書いてもらうようなこともあります。これから各都市の状況やニーズを把握してもらい、ポスターやリーフレット、申請書などを作成していただきたいと思えます。

【大分県学事・私学振興課長 木部委員】

年金セミナーを対面でやって意識啓発していくのは大事ですが、小中学校では生徒一人に1台のパソコンになっており、これからはデジタル化が進むので年金セミナーを実施するときはデジタルに適した資料のつくりにした方がよいと思えます。大学生はデジタルネイティブでYouTubeやティックトックで情報を取っているので、対面で説明後にQRコードで詳しくはYouTubeに誘導していくのを作るのも一つではないかと思えました。また、年金セミナーの実施後のアンケートもデジタルであれば集計も楽であり変えていった方がよいと思えます。国のデジタル庁でDX重点計画をやっており、今後2、3年でデジタル化が急速に進むので各行政の窓口でもそれを見据えて対応を考えることが大事だと思えます。

11. 議題の説明

会議次第5. 個人向けオンラインサービスの利用促進について、大分年金事務副所長山本より説明を行う。

12. その他全般的な質疑

【子育てママ有志の会代表 村井委員】

大学生の息子が学生納付特例を受けていますが、住民票が大分で学校が福岡なので毎年大分の実家の方にお知らせが届き、本人に手続するよう伝えるもなかなか手続をせず、

6月によりやく手続をするような状態です。ありがたいことに手続していなければはがきや電話で何度も連絡してくれています。迷惑をかけますが、ぜひ継続してほしいと思います。

大分大学の食堂で相談会を開催するという話がありましたが、昼の学食は多くの学生が集中する時間であり、その場で学生が年金の話をゆっくり聞けるかどうか疑問に思います。

一番にぎわっている時間帯の食堂の一角で、学生がプライベートな話を相談するのはハードルが高いのではないのでしょうか。大学に協力してもらい会議室や学生相談室を借りて相談会を開催するようにした方がよいと思います。

【回答：大分年金事務所長 山口】

ご意見ありがとうございました。

学生納付特例については確かに住民票が大分にあって県外の大学に行っている学生は結構いて、そういう方には手紙や電話などをしながら申請漏れのないよう取り組んでまいりたいと思います。また、大分大学ではこれまで2回相談会を実施していますが、担当した職員からは、話ができなかったというのを聞いています。今後どのようなやり方がよいのか検討しているところです。今回大学の協力を得て学食で相談会を開催できたことはまずは一歩踏み出せたのですが、今日のご意見を聞いて昼の学食では学生が相談できる状況ではないのかと思いましたので、改めて大学とも話し合っただけ効果的なものになるよう尽くしていきたいと考えてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。

13. 議長降壇

14. 閉会宣言 15:50